

江戸楽

edo-gaku

2022年4月号より抜粋

HOTEL
THE
LEBEN
OSAKA

開業記念

歴史と 水の回廊 大阪

- ・賑わいと水運の都市・大坂
- ・船場界限 歴史散歩
- ・大阪の歴史を学ぶスポット
- ・今日からあなたも“船場人”
- ・水都大阪の再生に向けて
- ・船場周辺 水辺の楽しみ方&くつろぎスポット
- ・船場界限 食の名店案内
- ・HOTEL THE LEBEN OSAKA
- ・スタッフおすすめ大阪観光スポット
- ・OSAKA MAP

特集
歴史と
水の回廊
大阪



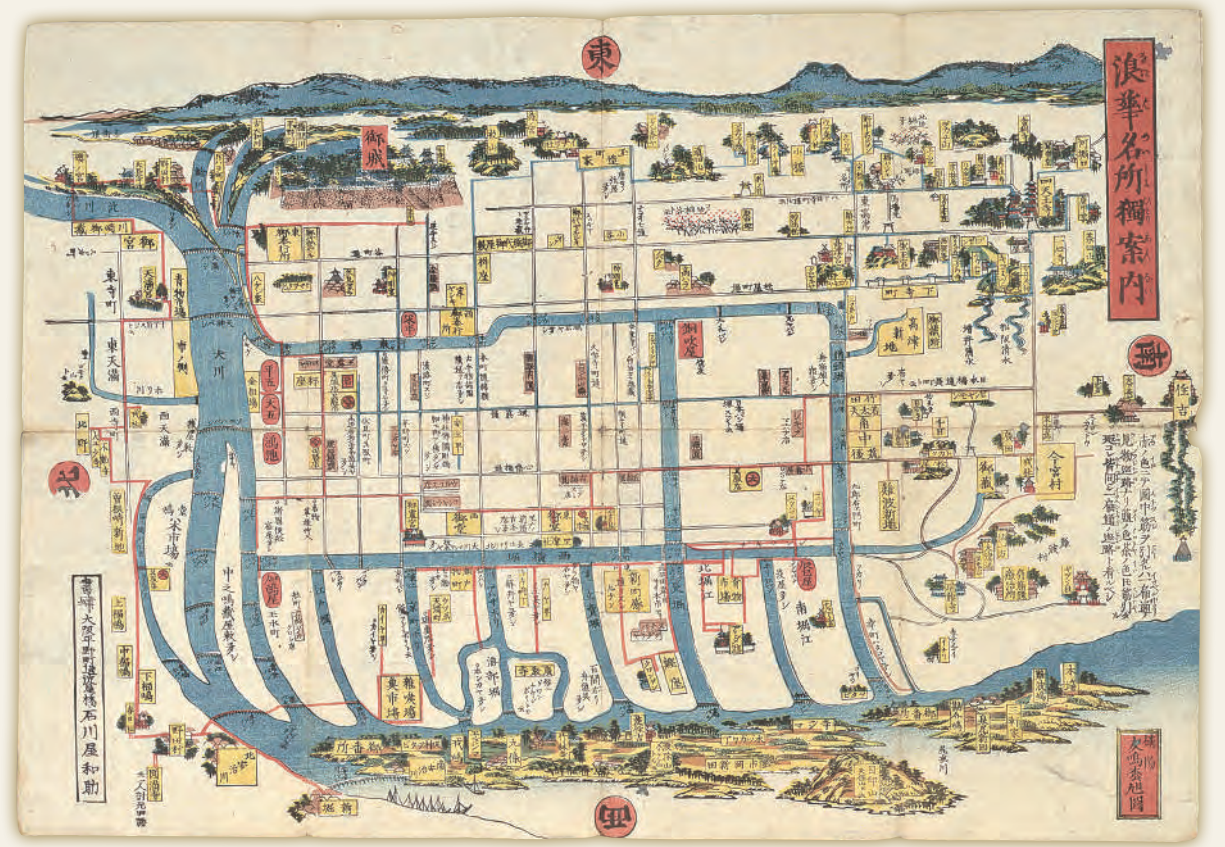
五雲亭貞秀「浪速天満祭」(国立国会図書館所蔵)

川面を埋め尽くす舟、舟、舟。ここは幕末期の大阪(當時は「大坂」)、都市の中心部を流れる大川の様子である。この錦絵は日本三大祭りの一つ「天神祭」の船渡御(神輿を船に載せて川を渡る神事)の様子を描いたもの。手前から「難波橋」「天神橋」「天満橋」も描かれている。幕府が置かれた江戸が政治の中心地だったのに対し、大坂は経済の中心として発展し、「天下の台所」と言われた。諸国から産物が流入し、町には掘割が縦横に走り、水運が発達。江戸の「八百八町」に対して大坂は「八百八橋」と呼ばれた。

繁栄を誇った大坂の中でも、とりわけ中心部に位置する「船場」のエリアは古くから商いの町として栄えた。オフィスビルが林立する今も、町を歩けば江戸時代の面影や水辺の記憶「大大阪」と呼ばれ繁栄した時代の近代建築が残っている。

本特集では大阪中心部の都市発展の歴史を振り返るとともに、船場界限にスポットを当て、その歴史と、水辺空間の現在も紹介したい。

参考文献：脇田修「近世大坂の町と人」(吉川弘文館)、藤本篤、大石慎三郎、会田雄次監修「江戸時代 人づくり風土記 大阪 見る・読む・調べる 大阪の歴史力」(農山漁村文化協会)、津田秀夫編集「図説 大阪府の歴史」(河出書房新社)、前田豊邦、藤本篤、馬田綾子、堀田暁生編「新版県史」27.大阪府の歴史」(山川出版社)、脇田修監修「図説大阪 天下の台所・大坂」(学習研究社)



「浪華名所獨(ひとり)案内」(大阪歴史博物館所蔵)。大阪市中の名所をデフォルメして描いており、おすすめの観光ルートが示されている。水路が縦横に張り巡らされている様子がわかる

賑わいと水運の都市・大坂

「天下の台所」といわれた大坂。繁栄の要因と様々な姿、そして経済の発展に支えられて花開いた町人文化について、大阪歴史博物館学芸員の島崎未央さんに話を聞いた。



大阪歴史博物館 学芸員

島崎未央さん

1987年和歌山市生まれ。大阪市立大学文学研究科博士後期課程修了。専攻は日本近世史

城下町を整備

大坂は瀬戸内海に面し、淀川や大和川で内陸の畿内各地とつながっているという立地により、古代から水陸交通の要衝で、人やモノの往来が盛んでした。豊臣秀吉が大坂城を築いたのは上町台地の北端。台地の東や北は河川に囲まれ、西は海岸に近く、南側には平地がひらけています。南には堺、住吉、四天王寺など古代・中世に隆盛した地域もあり、守りの堅い要害の地でした。秀吉はまず、南北に細長い上町台地上の開発から着手し、四天王寺まで開発を進めます。大坂城の南から四天王寺までの間に、自治的な商業都市として栄えた近郊の「平野郷」から

町人を移住させ、「平野町」を作りました。

城の西側に位置する船場の辺りは当初の開発計画からは外れていましたが、秀吉は最晩年、息子の秀頼のために守りを固めるべく、城の南側に武家地を作ります。その時、そこにいた町人たちが東横堀川の西側に移転させました。それが船場地域となつて開発される始まりです。豊臣滅亡後、徳川幕府も大坂の地理的重要性を認識し、幕府直轄地として復興・開発を進めました。先述のような地理条件が揃っていることもあり、廻船の寄港地、河川交通の発着地になります。上町台地以西は低湿地のため、水はけをよくするために堀川を開削し、その土を盛って船場などの町場が造成されました。

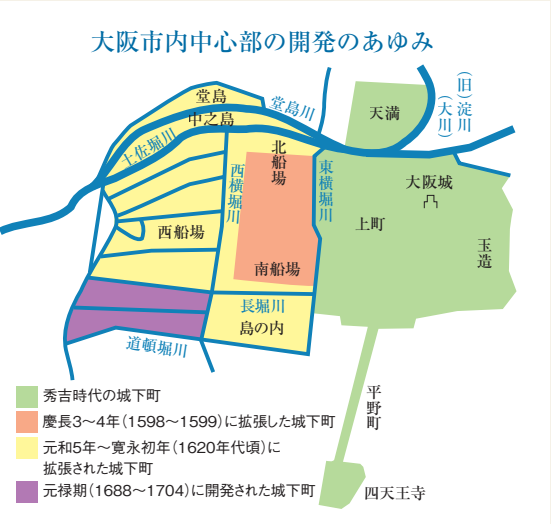
畿内は菜種や木綿の生産が盛んだつたため、大坂ではその加工業が発達します。移入品の第一位は諸藩の蔵屋敷が置かれたため「米」ですが、第二位は「菜種」。それを油に絞つ

たものが移出品の第一位です。大坂とその周辺地域で作られた油は全国に、とりわけ巨大消費都市であった江戸に移出されました。また、諸大名が年貢米を換金する機能をもった「堂島米市」以外にも、生鮮食料品を扱う「天満青物市場」「雑喉場魚市」が大坂の三大市場として活気をみせます。こうして大坂は「天下の台所」と呼ばれるほどに繁栄を見せました。

台頭する大坂商人

幕府は有力町人を元締めに任命し、町割りなどの実務を担わせました。やがて金融業の鴻池、銅精錬業の住友などの大商人が台頭します。大坂商人と言えば井原西鶴が「日本永代蔵」で描いた「淀屋」の豪奢な生活が有名ですが、鴻池はその対極にあり、堅実な商売と暮らしぶりが家訓とされてきました。

儒学者・経済学者の海保青陵は江戸の人で、大坂に滞在して感じた大坂商人の特徴を記しています。そこには「格式を重視しない」とか、「身分や帯刀を与えられてもそれほど喜ばない」とあり、武家の権力にすり寄りうとしない気質を感じたようです。俳人・小西来山の「お奉行の名さへ覚へず年暮れぬ」という俳句は、「町奉行の名前なんか知らなくても平和に暮らしているよ」と、太平の世をたたえると同時に、大坂町人の心意気を表しているものとして知られています。



大阪歴史博物館に展示されている江戸時代の船場の復元模型。金融や流通の中心地としての船場には日本中の富が集まった



大坂商人の財力をバックに学問や文化も花開きました。町人たちの手で幾多の学塾が開設されますが、特に有名なのは「懐徳堂」で、その実力は江戸の官学「昌平坂学問所」をしのぐとの呼び声も高かったといえます。文芸では近松門左衛門、井原西鶴、上田秋成などが上方文化を代表し、浄瑠璃、文楽、歌舞伎も盛んになりました。



左上／適塾(大阪市中央区北浜 3-3-8 / TEL06-6231-1970)の外観 左下／適塾に隣接する公園に建つ緒方洪庵像 中・右／垂直に近い急階段。2階は福沢諭吉ら塾生が寝起きした大部屋や、塾に1部しかないオランダ語の辞書を利用するための「ゾーフ部屋」などがある

旧小西家住宅史料館(大阪市中央区道修町 1-6-9 / TEL 06-6228-2847)。内部見学は完全予約制。明治末期、市電開通のため堺筋を拡幅するのに伴い、主屋の西側(黒壁の側)が軒切りされている様子がわかる

船場界限 歴史散歩

豊臣秀吉の時代より開発が始まった城下町、船場。今も歴史の面影が濃く残る一帯を歩いてみよう。

新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う対応については各施設のホームページ等でご確認ください

四方を堀川に囲まれた町

大阪駅周辺の梅田は「キタ」と呼ばれる繁華街。一方、グリコサインに象徴される道頓堀やなば駅周辺は「ミナミ」。本頁で紹介する「船場」は、このキタとミナミの中間に位置するオフィス街だ。一帯はビルが建ち並びビジネスマンが通りを闊歩しているが、この町をじっくり歩いてみると、そこかしこに歴史の面影を探ることができよう。江戸時代、船場の北の縁を流れる大川の両岸、中之島のあたりに諸藩の蔵屋敷が建ち並び、船場には両替商、米問屋などの大店が

集まった。大川は中之島で二つに分かれ、北側を「堂島川」、南側を「土佐堀川」と称する。土佐堀川から「東横堀川」と「西横堀川」(現在は埋め立て)が南に向かって分流し、両河川は「長堀川」(こちらも埋め立て)で東西につながっていた(P4図参照)。このように船場は四方を運河に囲まれ、大坂城に通じる東西を原則「通」とし、南北に「筋」が交錯する格子状の町割りが形成される。「通」沿いには同業者が集まり、特色ある町並みが作られた。現在も製薬会社のビルが並ぶ「道修町」は、江戸の頃より薬種商が集まる薬の町。少彦名神社

船場でぜひ訪れたいのが医者・蘭学者の緒方洪庵の私塾兼旧宅「適塾」だ。現存する国内唯一の蘭学塾の遺構で、江戸時代の町屋のたたずまいを留めている。緒方洪庵は種痘、すなわち天然痘ワクチンの接種に尽力した人物で、適塾からは福沢諭吉・大村益次

大阪の歴史を語る史跡

は安永九年(一七八〇)、薬種商らが京都の五條天神より日本の薬種神である少彦名命を勧請し、中国医薬の祖神・神農炎帝と共に祀つたのが始まりだ。道修町通と堺筋の交差点に建つ「旧小西家住宅史料館」は明治三年(一八七〇)、薬種商として創業し現在は合成接着剤「ボンド」の製造・販売を行う「コニシ株式会社」の旧社屋。明治時代の建築だが江戸期の面影が偲ばれる造りで、船場の伝統的な商いや商家の暮らしの一端に触れることができる。「田辺三菱製薬史料館」でも薬種商「田邊屋」の歩みを伝える史料を展示し、明治期の店先を再現している。

東横堀川に架かる「高麗橋」は江戸を出立し東海道から京街道の宿場を経る計五七次の終着点。西日本の街道の起点でもあり、明治時代には里程元標が置かれ、現在も橋のたもとにその歴史を伝える石碑が建っている。大坂の町づくりに伴って造られた下水道である「太閤(背割)下水」は船場を含む城下町の発展を支えた。現役の下水道施設として今も一部使用されており、「太閤(背割)下水見学施設」ではその様子を見ることができ。城のある上町台地から西方面の海に向かって傾斜している大阪の地形や、下水道を挟んで町が背中合わせになるように形成された歴史を知ることでもできるだろう。「北御堂ミュージアム」は本願寺津村別院(北御堂)が二〇一九年に開設。大阪の都市形成に大きく関わってきた本願寺を中心に、大阪の歴史を学ぶことができる。

左／北御堂ミュージアム(大阪市中央区本町 4-1-3 / TEL 06-6261-6796) 中／太閤(背割)下水見学施設(大阪市中央区農人橋 1-3-3 / TEL 06-4963-2092) 右／高麗橋と里程元標跡の石碑。幕府が管理した12の公儀橋の中でも最も格式が高いとされていた

左／田辺三菱製薬史料館(大阪市中央区道修町 3-2-10 / TEL 06-6205-5100) 中／旧小西家住宅史料館の所蔵品コーナー 右／少彦名神社(大阪市中央区道修町 2-1-8 / TEL 06-6231-6958)。「神農さん」と呼ばれて親しまれ、病除けのお守り「張子の虎」がシンボル





大阪歴史博物館



上/原寸大の難波宮で古代を体感 左/ここでは倉庫跡や堀跡などの遺構が見つかっており、実際に遺跡が見られる博物館は珍しい 右/9階の中世近世フロア。「天下の台所」と呼ばれた江戸時代の大阪の賑わいを紹介している

大阪市中央区大手前 4-1-32 TEL 06-6946-5728
営 9:30 ~ 17:00 ※特別展会期中の金曜~20:00 (入館は閉館の30分前)
休 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始 ※5/3(火・祝)、5/6(金)は開館
料 大人 600円、高大生 400円、
中学生以下・障がい者手帳等をお持ちの方・大阪市内在住の65歳以上無料

遺跡の上で、 大阪の歩みを体感しよう

乙巳の変後の652年に完成した孝徳天皇の宮殿「難波長柄豊碕宮」。その宮殿役所跡に建つこちらの博物館は「大阪市立新博物館」と「考古資料センター」の構想を統合して2001年にオープン。古代の都・難波宮に関する展示に力を入れ、中世・近世・近代・現代までの都市・大阪の歴史をまんべんなく学べる施設だ。入館したらまず10階までエレベーターで一気に上がり、奈良時代へ。国家的な儀礼が行われた大極殿を原寸大に復元した空間では、朱塗りの円柱が立ち並び、官人たちが厳かに整列。階を下るにつれて時間旅行は現代へと近づいてくる。地下ギャラリーで保存された本物の遺跡が見学できるのもこちらの博物館ならではの。

※見学ツアーの開催については要問合せ

大阪庶民の 暮らしの歴史が学べる

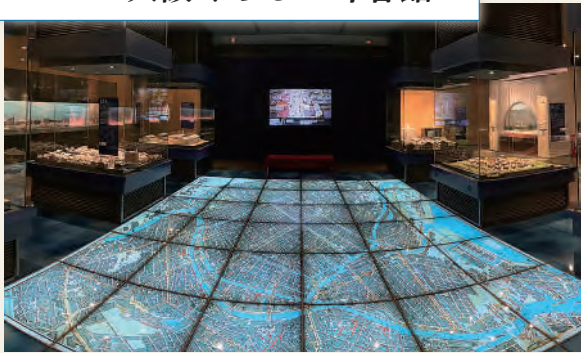
日本初「住まいの歴史と文化」をテーマにした博物館。9階では「なにわ町家の歳時記」をテーマに江戸時代の住まいや暮らしを再現している。

8階の「モダン大阪パノラマ遊覧」では、明治・大正・昭和の大阪を精巧な模型や映像などで紹介している。文明開化から「大大阪」と呼ばれるまちの発展を見せた大阪の歴史、そして戦災と戦後復興の住宅の歴史が学べる。他にも豊かさの象徴として「三種の神器」と言われてもはやされた冷蔵庫、掃除機、テレビなど当時の家電製品も実物展示されている。シニア世代には懐かしく、子どもたちには新鮮に

大阪市立住まいのミュージアム大阪くらしの今昔館



右/明治・大正・昭和の大阪のまち・住まいと暮らしを紹介した「モダンパノラマ遊覧」上/空堀通・表長屋。暮らしぶりや風俗まで細かく再現されている



感じられるだろう。(9階常設展示室・10階展望フロアは天井改修工事のため、2022年9月26日まで閉鎖)

大阪市北区天神橋 6-4-20 TEL 06-6242-1170
営 10:00 ~ 17:00 (入館は閉館の30分前)
休 火曜、年末年始、9/27 ~ 10/28 (全面開館準備のため臨時休館)
料 大人 400円、大・高生 300円、中学生以下・障がい者手帳等をお持ちの方・大阪市内在住の65歳以上無料 ※天井改修工事期間中(2022年9月26日まで)の料金。詳しくはHPをご覧ください



明治45年(1912)に開業した一大歓楽地「新世界」。通天閣と遊園地ルナ・パークを再現

大阪城



大阪の歴史を 学ぶスポット

古代から近代まで、
大阪の歴史・文化・歩みについて
触れてみよう。

錦城、金城ともいわれる大阪城の天守閣。望楼型、五重八階 鉄骨鉄筋コンクリート造 (画像提供: 水都大阪コンソーシアム)

令和3年(2021)、 復興90周年を迎えた三代目天守閣

天正11年(1583)6月に織田信長の一週忌を営んだ豊臣秀吉は、自身の権力の象徴として大坂城築城を急いだ。大坂本願寺跡に完成した重厚な天守は見事な出来栄であった。しかし慶長20年(1615)の大坂夏の陣で大坂城も大坂の町も焼失してしまう。江戸幕府二代将軍徳川秀忠は、大坂が政治的にも経済的にも重要な地であるとして、元和5年(1619)に幕府直轄地と位置づけ大坂城の再築を決意する。秀忠は秀吉の大坂城よりも更に高い石垣の構築を目指し西日本・北陸の外様大名を中心に64家の大名を動員。10年の歳月をかけて築きあげた。この再築工事で建てられた天守は寛文5年(1665)に落雷によって焼失する。

現在の大阪城天守閣は全額市民

の寄付金によって昭和6年(1931)に復興された。歴史博物館としての機能を備え、徳川幕府が築いた石垣の上に豊臣秀吉が築いた天守をモデルにして建てられた。第二次世界大戦では櫓など、貴重な歴史建造物が焼失するも天守閣は幸い被災を免れ、1997年には「国土の歴史的景観に寄与」との理由から国の登録有形文化財に認定。翌年には大阪城周辺地区が国土交通省による「都市景観100選」に選ばれ都市景観大賞を受賞した。

大阪の街のシンボルとして勇壮な姿で聳え立つ大阪城天守閣。8階の展望台からは大阪城公園や大阪平野が見渡せ、館内では大阪城にまつわる資料や初代城主である豊臣秀吉を主軸とした常設展示の他、様々な企画展を行っている。



上/江戸時代に建てられた多間櫓・千貫(せんがん)櫓。戊辰戦争や第二次世界大戦の空襲などの災禍をくぐり抜けた 下/城内で2番目に大きい「肥後石」は、表面積量約33畳敷で大きな存在感を放つ

大阪市中央区大阪城 1-1
TEL 06-6941-3044
営 9:00 ~ 17:00
(入館は閉館の30分前)
休 年末年始
料 大人 600円、中学生以下無料

今日から
あなたも

船場人

町に賑わいを取り戻す

船場倶楽部の取り組み

江戸から昭和にかけて繁栄を誇った船場は、バブル崩壊、人口減少などに直面し、町から賑わいが消えた時期があった。そして今、「船場に元気を取り戻したい」と願うまちづくりの活動が活発化している。

左から三谷直子さん、大橋達夫さん、谷口康彦さん。船場倶楽部事務所が入る伏見ビル前にて



キタでもミナミでもない
船場の魅力を発信

オールデコ調のデザインが目
を引く、大正十二年（一九二三）
築のビル。こちらに事務所を構
える「船場倶楽部」は、船場の地
域連合振興町会、商業団体、社寺、
法人企業、まちづくり団体など
が集うネットワークだ。理事長
の大橋達夫さんは発足の経緯を
次のように話す。「このあたり



船場の各地で見ることのできる「まちの案内板」。通や筋の歴史を解説する文章、地図、古写真などが表示されている

は証券会社が多かったので、昭和の終わり頃までは大変な活気でした。ところがバブル崩壊後、『シャッター通り』『駐車場通り』『倒産通り』などと言われる状態に。一九九五年には人口が四千人を切ったんです。戦前、『大大阪』と呼ばれて繁栄を誇った時期は六万人もいたのですが…。それで、船場の町をなんとか元気にしたいと思い、二〇〇一年に『船場げんき提案』というまちづくりプランのコンペを実施。二〇〇四年には『船場げんきの会』が発足します。家業の工務店の社長を務める大橋さんは、生まれも育ちも船場

人。町の変遷を見つめてきた。まちづくりの活動が次に転機を迎えるのが二〇〇八年、「船場地区HOPPEゾーン協議会」の発足だった。大阪市と一緒に、船場に残る近代建築を町の魅力として打ち出す取り組みをスタートさせる。「船場には町おこしのグループが二五くらいで、近代建築の魅力を伝えたり、商店街のイベントを開催したり、水辺空間を活用したりと、それぞれ活発に活動してきました。そこで二〇一五年、これらの団体が一堂に会する『船場倶楽部』を発足させました」

船場の中でも北部は空襲の被害が少なかったため、P5・6で紹介した適塾や旧小西家住宅などの木造建築、レンガやコンクリートの近代建築が今なお点在している。近代建築の多くが現役のビルとして使用されており、カフェやギャラリーなどに活用されている例も。「ぜひ町を歩いていただきたいですね。近代建築めぐりも面白いですし、通や筋をたどれば、街区の骨格が江戸の頃からほとんど変わっていないことがわかります。船場北部は金融業や薬業、南部は小間物、繊維、金属加工の商店が多いエリアで、通ごとに個性があります」と話すのは事務局長の谷口康彦さん。事務局の三谷直子さんは都市計画のコンサルタントをしてきて、知人から紹介されて船場の町おこしに関わるようになった。「船場には若い人や新しく入ってきた人の活動を応援してくれる雰囲気があります。二〇一九年にもコンペを開催し、その提案を受けて、道路や公開空地（※）を活用した音楽ライブ、ワークショップなど

を楽しむイベントを開催するなどの社会実験も始めています」発足時から力を入れている取り組みの一つが、「まちの案内板」だ。大阪市が進める船場地区の無電柱化とも連携する活動で、通や筋の成り立ちなど船場の歴史を伝える観光案内板を地権者の協力を得て設置。その維持管理も行っている。「近年はマンションが増え、小学校の教室が足りなくなつて増築することになりました。子どもたちをはじめ地元の皆さんがこの町を愛するために、そして大阪に観光や仕事で訪れる方が足を運んでいただけるように、船場の魅力をお伝えしていきたい」と大橋さんは話す。



1927年築の芝川ビル。チョコレートショップや眼鏡店などのテナントが入る。最上階に戦後の増築部分を撤去して復元された「芝川ビル モダンテラス」はイベントにも活用されている

※ビルやマンションの敷地に設けられた一般公衆が自由に出入りできる空間

水都大阪の再生に向けて

河川や運河によってもたらされた大阪の繁栄の歴史。戦後、モータリゼーションが進む中で忘れられつつあった水辺の憩いが、今復活しようとしている。



河川や運河に囲まれた大阪市中心部(「水都大阪コンソーシアム」ウェブサイトより転載)。2000年代に東横堀川水門、道頓堀川水門が建設されたことにより、護岸壁を低くし、川岸は水辺に親しめる空間に生まれ変わった

大阪市中心部に水の都を再び

江戸時代の大阪は「八百八橋」と呼ばれるほど多くの橋が架かる水の都だった。維新後、産業が近代化され、「大大阪」の繁栄の時代にも舟運は活躍するが、戦後、モータリゼーションが進む中で堀川の多くは埋め立てられた。かろうじて残った川も、上に高架道路が建設されたり、

川沿いのビルが川に背を向けて建てられたりするなど、川の存在は忘れられつつあった。

このような状態は大阪に限らず、国内外の諸都市も総じて同じような傾向にあるといえるが、近年、水辺を憩いの空間として再評価する動きが活発化している。大阪では二〇〇一年より内閣官房都市再生本部によって「都市再生プロジェクト」に指定されたことが契機となり、水辺の生活を気取った賑やかな場へと再生するための官民連携の取り組みがスタートしている。

「水都大阪コンソーシアム」の田中智彦さんに話を伺った。「大阪は『食いだおれ』の町といわれていますが、元の意味は『杭だおれ』と言われていました(諸説あり)。町人たちがお金を集めて架けた橋もありました。『杭ひとつ取り替えるだけでも町内は倒れる』とも言われほど補修費用もかかります。それだけに大阪人は橋を大切にしてきたのです。大阪は川が中心部を口の字に廻る『水の回廊』を形成し

土佐堀川に面するビルは、これまでは写真左のように川に背を向けていたが、2009年に任意地域団地で占用許可を受け(日本初)、川床常設化(こちらも日本初)を実現。川面を感じながら飲食が楽しめる空間「北浜テラス」として生まれ変わった



ている、世界でも稀な地形。『橋』と名の付く駅名も実に多いことからわかりやすい。この特色を活かし、船着場の整備、遊覧船の運行、護岸や橋梁などのライトアップなどのプロジェクトを進めてきました。もう二〇年取り組んでいる事業ですが、様々な分野の方の知恵を結集し、もっと多くの方に水辺空間の楽しさや心地よさを知っていただけるよう事業推進に力を入れていきたいと思っています」

大川上流から中之島公園を望む。右が堂島川、左が土佐堀川に分かれる。「北浜テラス」は写真左手の護岸沿いにあり、船場の町は写真左方向に広がる(画像提供:水都大阪コンソーシアム)



© (公財) 大阪観光局

中之島公園

堂島川と土佐堀川に挟まれた、豊かな自然を満喫できる公園。明治24年(1891)、大阪市で初めて誕生した公園として、憩いのスポットとなっている。約3,700株のバラが咲き誇るバラ園や重要文化財の大阪府立中之島図書館、中之島のシンボル、大阪市中央公会堂(表紙でも紹介した大阪を代表するレンガ建築)など見どころも沢山。

大阪市北区中之島
TEL 06-6312-8121 (扇町公園事務所)
osakapark.osgf.or.jp/nakanoshima/



喫茶 & BAR MOUNT

土佐堀川に面した北浜テラスのカフェ。オシャレな北浜エリアでも気取らずに「落ち着きたい」時に通える。表紙でも紹介した、絵画のような風景を眺めていると時の経つのを忘れてしまう。一番人気はフォークとナイフで食べる揚げパン。懐かしさと新しさ、今の北浜を象徴するような一軒だ。

大阪市中央区北浜 2-1-17 TEL 06-6227-8024
営 11:00~18:00(LO 17:30)、日~17:30
(LO 17:00) 不定休 mountkitahama.com



A

B

一本松海運株式会社
乗船場所 ユニバーサルシティポート/湊町船着場(湊町リバープレイス北側) 料 大人 3,000円、
学生 2,000円、こども(小学生以下) 無料 TEL 06-6441-0532 www.ipponmatsu.co.jp

落語家と行く なにわ探検クルーズ

20年近く続く人気のクルーズ。上方落語の落語家がガイド役として乗船し、大阪の歴史や古典落語に登場するコースの見どころを面白おかしく解説する。エリアごとにがらりと表情を変える大阪を体感することができる。水辺でくつろぐ人々が船に向けて気軽に手を振る。そんな大阪の人情も感じられるクルーズだ。

D

川の駅はちけんや

雁木(船荷を揚げ降ろしする階段)と呼ばれる船着場を再現し、SUPなど手漕ぎ専用の船着場として活用。淀川舟運の発着地であった「八軒家浜」のゆかりを伝えている。観光船乗り場やレストランなどもあり、ヒト・モノ・コトが集まる場となっている。

大阪市中央区北浜東 1-2 info@8ken-ya.osaka 営(レストラン) 11:00~18:00
(アクティビティ) 7:00~10:00 その他詳細はHPまで 8ken-ya.osaka/



C

D



船場周辺

水辺の楽しみ方 & くつろぎスポット

古くから水運のまちとして栄えた船場周辺には、今なおその歴史景色を楽しみながら、ゆったりとくつろぐ時間

を伝えるスポットや、人々を癒す水辺の風景がある。を過ごしてみては。

※新型コロナウイルス感染予防および拡大防止対策の要請を受け、掲載情報に変更が生ずる場合があります。最新

情報は、各店のホームページなどでご確認ください



F

パンとエスプレッソと 堺筋倶楽部

1931年に銀行として建てられた堺筋倶楽部。現在は香ばしいパンの香りに包まれる。人気の食パンを使用したモーニング、パン食べ放題のランチ、ティータイムにディナータイムまで。歴史を感じる空間で心地よい時を過ごしてみては。

大阪市中央区南船場 1-15-12 堺筋倶楽部 1F TEL 06-4256-4880 営 8:00~22:00
不定休 bread-esspresso.jp/shop/bread-esspresso-and-sakaisuji.html



E

ベータ 本町橋

東横堀川での水上ピクニックや水上散歩、クルーズなどの水上体験がおすすめ。陸から川を眺めるだけではわからない、水の透明度、魚や水鳥などの生き物の様子を間近に見ることができる。美味しいコーヒーやクラフトビールを片手に、ゆったりと過ごすことができる癒しの空間だ。

大阪市中央区本町橋 4-8 TEL 06-7504-1846 営 11:00~21:00
(土日祝~18:00) 休 火曜 hommachibashi.jp



F



ご飯の中にも鰻が敷き詰められている「大阪まじし蘭」6,670円。創業以来、受け継がれているタレは、本たまり、本味噌、灘の酒を使用

本家柴藤

享保年間創業の上方焼鰻の老舗

元は将軍家に魚を献上する川魚商を営んでおり、八代将軍・吉宗の勤めで料理屋「柴藤」を開業したのが始まりと伝わっている。上方鰻は腹を割って話すことを重んじることに由来するといわれ、腹開きで蒸さずに焼き上げる。来店タイミングに合わせて米を炊き、注文後に鰻を焼きはじめる。伝統の味を求めて老若男女、遠方からもファンが訪れている。



大阪市中央区高麗橋 2-5-2
TEL 06-6231-4810
営 11:00 ~ 14:30 (LO13:50)、
17:00 ~ 20:45 (LO20:15)
休 日月祝
平均予算 3,700円 ~ 6,700円
(コース) 8,000円 ~ 16,410円

福太郎 本店

焼き手の技も必見！ 活気溢れる鉄板焼きの名店

素材の良さを活かすため、やや薄味に仕上げた和牛すじ肉と九条ネギの「すじねぎ焼き」は人気の一品。生地には昆布出汁を利かせた鰹と昆布の和風出汁を使用し、自家製醤油ダレでいただく。一品料理を楽しんでから、しめにねぎ焼き、お好み焼きを注文する常連客も多いそう。無駄のない手捌きで焼き上げる焼き手の姿も魅力の一つだ。



大阪市中央区千日前 2-3-17
TEL 06-6634-2951
営 17:00 ~ 0:00
土日祝 12:00 ~ 23:00
無休
平均予算 1,000 ~ 4,000円

フワフワの生地に牛すじとネギが包まれた「すじねぎ焼き」1,280円。目の前で焼き上げるカウンターの他、テーブル席、掘りごたつ席も用意



一番人気の「きつねうどん」880円。二番人気の「親子丼」とのセットも好評。鴨と水菜のハリハリうどん鍋や鰻すきうどん鍋など季節限定のお鍋も

道頓堀 今井 本店

全国にファンを持つ、こだわりのお出し

ルーツは江戸後期の芝居茶屋に遡り、戦前は西洋楽器店を営んでいた。空襲で店を焼失し、食べ物屋として再起を決意。1946年、そば・うどんの「御蕎麦処今井」を創業する。道南産の天然真昆布と九州産のさば節・うるめ節の出汁は香り高く、コクとうま味が凝縮。引き立ての豊かな風味を活かすため、八升釜で40回以上出汁を引く日もあるそう。



大阪市中央区道頓堀 1-7-22
TEL 06-6211-0319
営 11:00 ~ 22:00 (LO21:30)
休 水(祝日は営業)
平均予算 880~2,000円

吉野寿司

見た目にも鮮やかな大阪寿司

大阪寿司と言えば箱に入った押し寿司や箱寿司が特徴。天保12年(1841)創業のこちらは、伝統の味を守り続けてきた。名物「箱寿司」は活焼穴子、厚焼き玉子、活小鯛、海老など丹念に仕込んだ高級素材をすし飯の上にのせ、椎茸や焼きのりを入れて二寸六分(8.5cm)の木型で押しして作る。「二寸六分の懐石」と呼ばれるほどに美しい。



大阪市中央区淡路町 3-4-14
TEL 06-6231-7181
営 11:00 ~ 13:30 (LO)
(お持ち帰り) 9:30 ~ 14:00
休 土日祝 平均予算 3,000円
※箱ずしはお取り寄せも可能
3,456 ~ 8,424円(送料別)

シャリは「日本晴」など、西日本の硬質米を使用。噛みしめるほどに美味しさが増し、時間がたっても美味しさが変わらないという



ランチタイムの平均予算は2,000円。こちらは平日15食限定の「洋食弁当」1,600円。アルコール類も多種多様に揃う

洋食勝井 御堂筋ロッヂ

古き良き時代を彷彿とさせる、懐かしい洋食店

1999年に創業した「洋食 Katsui」の2号店として2011年にオープン。エビフライやハンバーグ、黒毛和牛の網焼きなど60種類程の洋食がメニューに並ぶ。料理はもちろんのこと、デミグラスソースやマヨネーズ、ドレッシングに至るまで全て手作りにこだわっている。落ち着いた店内でゆっくり寛げる大人のファミリーレストランだ。



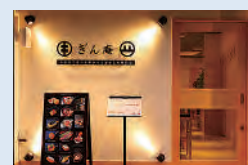
大阪市中央区南船場 4-3-11 B1F
TEL 06-6251-5064
営 11:30 ~ 15:00 (LO14:30)、
17:00 ~ 22:30 (LO21:30) 土日祝
は通し。日祝 ~ 21:30 (LO 20:30)
休 月(祝日の場合は翌平日)
平均予算 夜 5,000 ~ 6,000円

※日祝のみ小学生未満の来店可

ぎん庵 心齋橋

お出汁で食べる串かつと釜めしの専門店

「シンプルな料理だからこそ、素材の質が肝心。食材本来の風味を活かすことを何より大切にしています」と代表の武村雄二さん。女性客に人気の串かつは、北海道の真昆布と血合いを抜いた新鮮な鰹節で引いたお出汁でいただく、ヘルシーな一品。釜には注文を受けてから炊き上げる釜めしを。まずはそのままいただいて、次はお出汁でお茶漬けに。



大阪市中央区東心齋橋 1-9-13
TEL 06-6210-1020
営 16:30 ~ 23:30 (LO23:00)
無休
平均予算 4,000~5,000円

「串かつお任せストップコース」(1本220円)は、約33種類の串かつをおすすめ順に掲げて、個々のタイミングで終了



彩食倶楽部 味名人

新鮮鮮魚とこだわり料理で今宵も一献

漁師や産地から直送で仕入れる新鮮素材を活かした和食料理店。店主・土井満さんが釣った瀬戸内の魚がメニューに並ぶ日も。土井さんの腕が光る「おまかせコース料理」(予約制)は、多くの常連客の支持を得ている。またランチタイム限定で人気の「かつめし定食」(850円)は、卵でとじないあっさりとした和風出汁で来店客の6割が注文するそう。



大阪市中央区南久宝寺町 3-3-3
三都ビル B1F
TEL 06-6243-0217
営 11:15 ~ 14:30 (LO14:00)、
18:00 ~ 22:30 (LO22:00)
休 土日祝
平均予算 6,000円

その日の盛り合わせ(時価)。当日仕入れた旬の料理を楽しめる



HOTEL THE LEBEN

OSAKA



リビングルームと2つのベッドルームを備えた、最大8名まで宿泊できる「レーベンスイート」



ホテル外観。心斎橋駅まで徒歩8分。大阪中心部に位置し、全エリアにアクセス至便

2022年3月、南船場に開業する「HOTEL THE LEBEN OSAKA」。ホテルのコンセプトや魅力について、タカラレーベンの秋澤昭一さんに話を聞いた。

創業五〇周年記念 自社初のホテル事業

二〇二二年九月、弊社は、創業五〇年を迎えます。一九七二年に「宝工務店」として創業した当社は「幸せを考える。幸せをつくる。」をビジョンに掲げ、総合不動産事業、アセットマネジメント事業、エネルギー事業など幅広い領域で人々の理想のライフスタイルを実現するため、日々業務に取り組んできました。その中で、創業五〇周年記念事業の一環としてホテル運営に参入し、大阪・南船場に初めて自社のオリジナルブランドホテル、「HOTEL THE LEBEN OSAKA」を開業します。「タカラレーベンが手掛けるホテルとして何が出来るのか」。それを考えた時に行きついたのが、「くつろぎ」という幸せを、ここにも」というコンセプトでし



株式会社タカラレーベン
取締役 兼 常務執行役員
秋澤昭一さん

た。住宅では、人々は一日の多くの時間をリビングで過ごします。靴を脱いで家に入ったら、リビングでリラックスする。旅先における自宅のような場所であるホテルでも、そのくつろげる空間を提供したいと思いました。そこで、「HOTEL THE LEBEN OSAKA」の客室には広めの落ち着いた空間を設け、家に帰ってきたかのようにホッとできるホテルを目指しました。入口にはシューズボックスを用意し、靴を脱ぐ過ごし方を提案しています。素足と土足の空間を明確にわけることができ、まるで自宅に居るよ

人材育成を通じ グループ全体の成長へ

約四年間の準備期間を経て、三月二四日に開業を迎える「HOTEL THE LEBEN OSAKA」。まずは、自社で初めて取り組むホテルオペレーションの成功を願っています。そしていずれば、二号店、三号店を開業し、セカンドブランドも構築できればと思っています。また、当社のオペレーションに価値を感じていただき、他のホテルのオペレーションを担えるように成長すればよいですね。今後は人材育成にも力を入れたい。ホスピタリティに溢れたマンションの販売員は当社の大きな財産

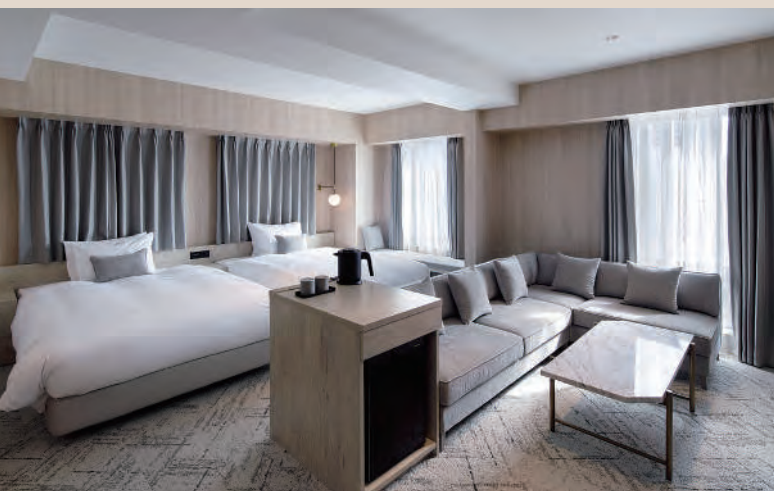
の一つですが、きっと彼らは良いホテリアになるのではないかと思っています。ホテル、不動産に限らない、より俯瞰した人材育成を行い、それが、タカラレーベングループ全体の成長に繋がれば良いと思っています。

40㎡と広めの客室に1400mm幅のベッドを2台、ゆったりとくつろげるソファを用意した「スーベリアツイン」

「くつろぎの空間」の価値を ホテル業界にも発信していきたい

うな感覚でくつろげますし、小さなお子様がいるお客様も安心して過ごしていただけると思います。

このように分譲マンションで培った商品企画や空間創出ができる能力や知見を、ホテル空間に置き換えて提案し、「くつろぎの空間には価値がある」ということをホテル業界にも発信していくことが、約五〇年間、不動産業を手掛けてきた当社の役目であり、挑戦でもあると思っています。



ベッドは全室、高級ベッドの代名詞でもあるシモンズ製の6.5インチのポケットコイルマットレスを採用している



30㎡の客室に1400mm幅のベッドを2台用意したスタンダードタイプの「スタンダードツイン」

居心地の良さを追求 上質な、非日常の空間

「日常のくつろぎがある、旅が広がる。」をビジョンに、旅を通じて心が豊かになり、その喜びを多くの人と共有したくなるホテルを目指す「HOTEL THE LEBEN」。

日中の疲れを癒す くつろぎの空間

良質な空間と高いホスピタリティが、旅先での「幸せのあり方」を提案する。デザインは、「NEUTRAL STYLISH MODERN」をコンセプトに、きらびやかな高級感とは異なる、ニュートラルで居心地の良い空間を追求。グレイッシュの空間に、真鍮色をアクセントとした上質な非日常の空間を作り上げた。

客室は、平均三六㎡で、通常よりも一回り広いゆとりのある空間を用意。宿泊者の気持ちにもゆとりを生む広さの客室は、日中、観光やビジネス等、アクティブに過ごした疲れを心身ともに癒してくれる。また、一般的に、ワ



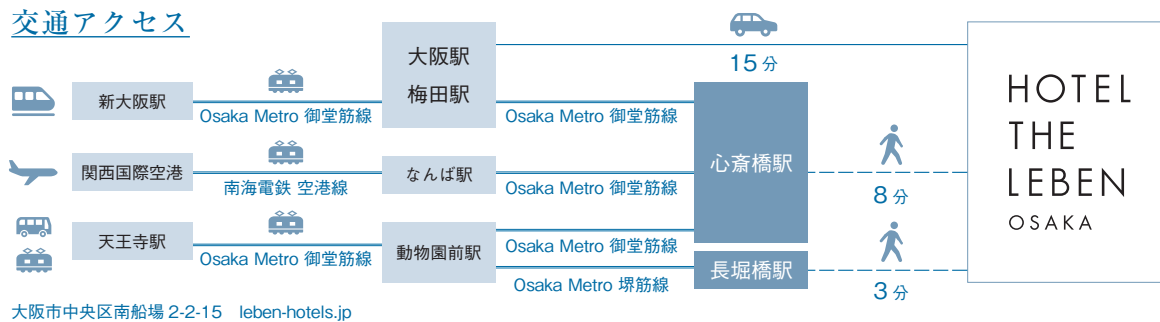
バス・トイレ別の水回りも、自宅のようなくつろぎを創出している

ンルームの間取りが多い客室だが、こちらのホテルでは、リビングルームとベッドルームを分けた「レーベンドスタイルルーム」を用意し、一層、自宅にいるかのようなくつろぎの空間を実現した。さらに、全室バス・トイレ別のため、同室の宿泊者にも気兼ねなく使用でき、よりリラックスした時を過ごすことができる。宿泊料金は、ルームチャージ制のため、一室を何名で宿泊しても同じ価格。広い空間を一人で使いたい、複数人で宿泊したい人等、それぞれの目的に合わせて利用することができる。

ストレスフリーな 客室リビングでの朝食

船場は大阪の中心部に位置し、歴史ある老舗から、流行の飲食店まで多数の店が並んでいる。隣接する心斎橋は御堂筋沿いに百貨店やハイブランドの路面店が並び、商店街には庶民的な店が連なる大阪屈指の繁華街だ。そんな船場界隈のまち歩きを楽しんでほしいとの思いから、館内にはレストランを設けていない。また、客室でゆっくり味わってほしいとの思いから、朝食はスタッフが部屋に届けてくれるので、自宅にいるような感覚で朝食を味わうことができる。家族や友人との旅行、出張。様々な大阪への旅人を、自宅を昇華させたようなくつろぎの空間で包んでくれる「HOTEL THE LEBEN OSAKA」。「大阪にもう第二の我が家」のように、心落ち着く空間がここにある。

交通アクセス



落ち着いた印象の外観やロビー。一歩足を踏み入れれば、旅の疲れを癒してくれる空間が広がる



スタッフおすすめ大阪観光スポット

ホテルから少し足を延ばすと、「ザ・大阪」とも言える観光スポットもたくさん。
 支配人の立岡秀海さんに、人気の場所を紹介していただいた。

大阪を代表する 繁華街

「ザ・大阪」とも言える道頓堀。大阪を代表する店が並んでいるので、大阪の味を満喫し、「食い倒れのまち」をぜひ体感してみてください。

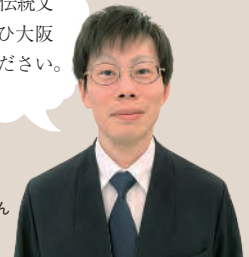


© (公財)大阪観光局

道頓堀

大阪市中央区道頓堀
 Osaka Metro 御堂筋線・四つ橋線・千日前線
 なんば駅、阪神電車・近鉄大阪難波駅よりすぐ

食の名店以外に、自然や風景、伝統文化を楽しむスポットも。ぜひ大阪の様々な面に触れてみてください。



支配人
立岡秀海さん

万博記念公園



写真提供：万博記念公園マネジメント・パートナーズ

一日楽しめる広大な公園

太陽の塔を中心に、自然文化園や日本庭園等を備えた総面積約260ヘクタールの広大な公園。大阪万博の記念館「EXPO'70パビリオン」等の文化施設やレジャー施設もあり、一日ゆっくりと楽しめる場所です。

大阪府吹田市千里万博公園 TEL 0120-1970-89 / 06-6877-7387(万博記念公園コールセンター) 営 9:30～17:00 (入園は30分前まで) 休水(4月～GW、10・11月は無休) 料 大人260円、小中学生80円(自然文化園・日本庭園共通) P 4,300台(有料)
 大阪モノレール線万博記念公園駅より徒歩約5分
www.expo70-park.jp taiyoutou-expo70.jp/

© (公財)大阪観光局



日本一高いビルから 大阪を見渡す

地上300mの高さを誇るビル。百貨店もあり、大阪土産の購入にも便利です。ハルカス300(展望台)からは、気候条件が良ければ淡路島なども一望できます。

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43
 (ハルカス300展望台) 営 10:00～22:00(入場は30分前まで) 料(当日料金) 大人1,500円、中高生1,200円、小学生700円、幼児500円
 JR・Osaka Metro 各線天王寺駅・近鉄阿倍野橋駅すぐ

あべのハルカス



© (公財)大阪観光局

大阪の胃袋を支える

卸売と小売を兼ね備えた市場で、鮮魚はもちろん、食料品、衣料品、飲食店等約170店舗が軒を連ねています。火災や空襲の度に復興し、今なお大阪の胃袋を支え続けています。

大阪府大阪市中央区日本橋
 Osaka Metro 堺筋線・千日前線日本橋駅より徒歩5分

黒門市場

伝統芸能「文楽」を体感

無形文化遺産にも登録された伝統芸能「文楽」を鑑賞できる劇場。太夫・三味線・人形が一体となって表現する世界に引き込まれてしまいます。

大阪市中央区日本橋 1-12-10
 Osaka Metro 堺筋線・千日前線日本橋駅より徒歩1分
www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html



写真提供：国立文楽劇場

国立文楽劇場

※新型コロナウイルス感染予防および拡大防止対策の要請を受け、掲載情報に変更が生ずる場合があります。最新情報は、各施設のホームページなどでご確認ください

HOTEL THE LEBEN OSAKA

日常のくつろぎがある、旅が広がる。

家族と、友人と、ときには一人で、心地の良い旅を楽しむ。

旅先に長く滞在しながら、初めての街での食や景色、人々とのふれあいを堪能する。

そんな旅の本質と出会う機会をつくる「HOTEL THE LEBEN」。

そこにあるのは、まるで我が家にいるような、深くくつろぎの時。

旅をととして心が豊かになり、その喜びを多くの人と共有したくなる。

「HOTEL THE LEBEN」にある良質な空間とホスピタリティが、旅先での「幸せのあり方」を提案します。

「HOTEL THE LEBEN OSAKA」2022年3月24日開業。



leben-hotels.jp

タカラレーベングループ
創業50周年記念ホテル



HOTEL THE LEBEN OSAKA
〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目2番15号

2022.3.24 GRAND OPEN

